

かがやき

令和3年 10月1日(金)
多摩市立連光寺小学校
特別支援教室 かがやき学級
学級通信 NO. 9

実りの秋へ

今年も金木犀の香りや夕方の満月が秋を感じさせてくれています。自然の景色のなかに感覚を置くと社会の不安なども軽くなるように思います。季節は実りの秋に向かっていきます。自然の中で共に繰り返してきた私たちの生活への意識を大切にしたいですね。

学校は後期に入ります。夏休みを過ぎ、さらに日々たくましく、元気に成長していく子供たち。三月まではまだまだ時間がありますが、一步一步自分の課題や成長に向き合いながら一緒に進んでいきたいと思えます。

仲間を尊敬したり共有したりする。～個別指導・グループ指導から～

夏休みを過ぎ、個別指導。グループ指導の仲間意識も少しずつ深まりつつあります。これまではそんなに意識しなかった仲間のことも個別指導やグループでの演習を通して癖や性格など互いにわかる場面が出てきます。会話を通して気持ちを共有すること。順番を譲ったり仲間同士で相談したりする場面からも子供たちが相手を意識するようになることがわかります。指導においてもこうなることを意識してきました。つまり、子供たちが互いに仲間と何かを共有していく仕掛けを指導の中に作るということです。大人もそうですが、あまり知らない人同士では自分のことを話したり協力的に活動したりするのは気まずいし、苦手とする方もいると思います。(それでも大人なのでやらなければならない時もあるのですが。)ただ子供たちはこうしたグループの中でどんどん進化をして成長していきます。それも大人とは違い、自然な感覚の中で、です。ドイツの精神分析学者のエリクソンは人が発達、成熟していく段階の中で、学童期の友達とのかかわりについて話しています。

「友達からなにかを学ぶこと、何かを教えること＝仲間と道具や知識や体験の社会を共有しあうこと。この中で相手を意識したり尊敬したりする経験を学ぶ。」総じて学校という場はこうしたことを学ぶ場です。かがやきの個別指導やグループ指導では特に意識してこうした場面を設定して指導しています。自分と違う友達とかかわり、互いに違うことを知ったり刺激を受け合ったりする中でさらに自分が成長していける。後期、お互いが背伸びしながら個別指導、グループ指導での成長がさらにできればと思います。

～かがやき教室からの お知らせ～

前期の終わりに、【個別指導計画】(前期分・後期分、各種1枚ずつ)を、封筒に入れてお渡しします。つきましては、以下の通りチェックの作業をしていただき、後期が始まり次第、お子様を通して【個別指導計画】(前期分・後期分)をお返しいただければと思います。

★前期分の【個別指導計画】⇒右下の欄に押印をお願いします。

★後期分の【個別指導計画】⇒左下の欄の口枠を塗りつぶし、チェック日をお書きください。

お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。また、なにかわからないこと等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。